

中間支援活動助成事業 実績報告

団体名	認定 NPO法人 まち・コミュニケーション	代表者名	宮定章
事業名	<基本事業> 小規模でありながら継続や発展を目指すボランティア団体やNPO 団体への運営・活動への相談支援事業－現場伴走型中間支援 認定 NPO 法人が寄り添う－ <企画立案事業> 次なる災害へ向けて、兵庫県の NPO の力を合わせて地域力を高めよう！ －NPO が地域の現場で活躍するために－		

<事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
4 月 9 日	熊本地震から1年 集落は今 ～集落持続性を考える～ 柴田 祐 氏（熊本県立大学 環境共生学部 居住環境学科 准教授、南阿蘇村復興計画策定委員） 他 丸野健雄氏（熊本県 南阿蘇村新所老人会会長）
6 月 3 日	熊本地震からの集落復興を考える～新潟中越地震の復興プロセスから見える視点～ 澤田雅浩氏（兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授）
7 月 23 日	福島を見続けたの6年 ”避難指示解除” 区域の住民自治と福祉 丹波史紀 氏（立命館大学産業社会学部 准教授）
9 月 29 日	コミュニティーの大切さ～阪神・淡路大震災の復興公営住宅の現場の聴き取り支援から～ 神戸大学OB

<効果と成果>

阪神・淡路大震災から22年間、当団体が常駐で、（東日本大震災や熊本地震を含め）地域支援をしてきた中で出会った、多くの人材・ネットワークをフル活用し、新たな人材を発掘を目指しました。阪神・淡路大震災から23年を経っていますが、改めて振り返り、各自が防災力を高め、伝える人材を育てる機会となりました。

今年度、特に印象に残ったのは、次世代を担う高校生が、防災や復興まちづくりをどのように伝えていけばよいかを相談され、報告・交流しあう場をつくりました。彼らの姿勢は、純粋で、報告を聞いた、周りの大人も、感動され動かされました。

<収支決算書>

[基本事業]

(収入)

項 目	金額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
自己資金	1,784,422
合 計	2,284,422

(支出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象 金額 (円)
直接 経 費	人件費 (職員)	1,681,200	200,000
	人件費 (アルバイト)	60,000	60,000
	旅費・交通費	54,756	40,000
	その他 (郵送費・消耗品費等)	201,374	160,000
	小 計	1,997,330	460,000
間接経費 (一般管理費)		287,092	40,000
合 計		2,284,422	500,000

[企画立案事業]

(収入)

項 目	金額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
勉強会参加費	105,500
自己資金	141,140
合 計	746,640

(支出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象 金額 (円)
直接 経 費	人件費 (職員)	442,800	196,160
	印刷費	27,921	27,921
	旅費・交通費	188,340	188,340
	その他 (謝金・消耗品費等)	87,579	87,579
	小 計	746,640	500,000
間接経費 (一般管理費)		0	0
合 計		746,640	500,000